新潟市生活部

部長 石田 祐子（上山小学校）

1 研究主題

限定と交流で気付きの質を高める生活科授業
～ 新しい遊び単元の創造をめざして ～

2 研究主題設定の意図

これまでの遊び単元では、様々な材料を使い関連のない遊びを一度に扱うことが多かったため、遊びが多様すぎて気付きが散らばった。気付きの質を高めようと交流の場を設けても、気付きの質を関連付けるのは難しく、個々の気付きを発表するレベルにとどまるが多かった。

また、子どもは、友達の気付きを自分の活動に生かすににくいので、交流より創作や遊びがしたいという思いの方が強い傾向があった。

最近の実践から、学習材や課題の範囲を絞ること（限定）をすると子どもの間に共通の学びの場ができ、気付きや活動が焦点化されたり交流が促進されたりして、気付きの質が高まると分かってきた。また、創作や遊びの前の全体交流や気付きをつなぐ支援をすると、気付きの質が高まるのではないかと考えた。

以上のことから、研究主題を上記のように設定し、実践を通して追求した。

3 事業の実際

- 5月 役員会
・組織，運営，研究計画の検討
- 6月 全体会
・組織，運営，研究についての説明
・ブロックごとの役割分担と授業者の決定
- 7月 全体会
・研究発表会プレゼンテーションの検討
- 8月 各ブロックごとの活動
 - ・Aブロック・・・「つくって わくわく ためして わいわい」（遊び作り）
講師 新潟市こども創作活動館 館長 櫻井哲資様
 - ・Bブロック・・・「牛乳パックなどの身近な材料を使った動くおもちゃ作り」
講師 新潟市立小合小学校 教諭 田端 徹様
 - ・Aブロック・・・「動くおもちゃ作り」
講師 平島公園クラブ 田中純一様
- 市小研研究発表会における研究発表
- 9月 指導案検討会
- 11月 研究授業
 - ・A Bブロック・・・2年「回れ！秋の巨大ごま」
授業者 新潟大学附属新潟小学校 教諭 土田 利康
指導者 市教育委員会学校支援課指導主事 田村 篤様
 - ・Cブロック・・・2年「つくってあそぼう ～風でうごくおもちゃ～」
授業者 新潟市立五十嵐小学校 教諭 近藤美由紀
指導者 市総合教育センター指導主事 根岸恵美様
- 12月 講演会
 - ・講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研修所教育課程センター 教科課程調査官 田村 学様
 - ・演題 「言葉と体験 ～生活科の授業づくり～」
 - ・会場 県立生涯学習センター ホール
- 1月 講演会
 - ・講師 学校法人新潟青陵学園 新潟青陵大学 福祉心理学科 教授 中野 啓明様
 - ・演題 「幼保小連携の課題」
 - ・会場 新潟市東区プラザ 多目的ホール
- 2月 役員会
・来年度の組織，運営，研究についての提案検討